

## 全国コミュニティ・スクール 研究大会 in 下関

矢崎節夫さんの講演から、金子みすゞの詩を考えたとき、学校、地域、そして、人としての生き方について、振り返る機会となりました。

これから、本町で推進されるコミュニティ・スクールを立ち上げるうえでの大切にするべき視点を示していただいているように感じます。

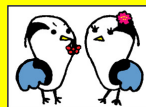
～学びと育ちの連続性～

### 浦幌小中一貫CS便り

平成26年9月19日 (NO.27)

浦幌町教育委員会

浦幌町教育研究所



## 基調講演編 PART2

講師： 矢崎 節夫 さん（金子みすゞ記念館 館長）

演題： 「みすゞさんのまなざし ～地域が育てるやさしい心～」

### 『大 漁』

朝焼小焼だ  
大漁だ。  
大羽鰻（おおばいわし）の  
大漁だ。

浜はまつりの  
ようだけど  
海のなかでは  
何万の  
鰻のとむらい  
するだろう。



自分が人間として認識できるのは、生まれた時からずっと、人である両親や祖父母、友達や先生、地域の人たちがいるから。そして、山や川、空や海といった自然。草や花、虫や鳥などの動植物が地球にあるから。

「私が私であるためには、あなたという存在がいてくれないと成り立たない」

#### 【講演から 素敵な言葉をまとめました】

- ◎「身（体）」「口（言葉）」「意（意識）」を整えることが大切。
- ◎「言葉」は人を変える力を持っている。
- ◎願いたいことを言葉にして、子どもに伝えることが大切。
- ◎「嫌な言葉」は残るけど、「嬉しい言葉」はすぐ消えちゃう。
- ◎食事は子どもと親が向き合う大切な場。食育は「心」を育てる。
- ◎コミュニティは、地域のことを考える前に、家族を考えることが大切である。